

第13回神戸市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和6年7月29日（月）14時00分～17時00分

場 所：三宮国際ビル 2階会議室

協議事項①：西区櫛谷地域のコミュニティ交通「はげたにコミュニティ すこやかバス」の本格運行の実施について

委 員：出席者13名、欠席者0名

学識経験者 土井 勉、猪井 博登

市民代表 後藤 茂

交通事業者 吉川 紀興、杉山 博志、前田 晃

各種団体 新屋敷 昭一、下谷 富雄、増田 俊彦

関係行政機関 木原 健太、鎗水 正和、竹川 正敏、三平 和彦、久保 真成

→協議が整った

主な発言内容：

- (土 井)：WEB 予約、電話予約ではどのくらいの割合か。また、だいたい家から出る前に予約すると思うが、病院などからの帰りの予約は時間がよめないなどあると思うが、工夫はされているか。
- (事務局)：WEB 予約 77%、電話予約 23%となっている。帰りの予約がしづらいのでは、という声は試験運行前にあがっていたが、利用するうちに次第に慣れてきた、帰りの便は時間に余裕をもたせて予約するなどして近隣施設で買い物などして時間を合わせている様子、声は聞かれなくなった。
- (土 井)：帰りはタクシーを利用することもみられ、タクシー利用が増えたりしているのか。
- (後 藤)：利用者からは、往復、地域コミュニティバスを利用していると聞いている。
- (猪 井)：寺谷の転回場所の安全性はどうか。小学校での転回は必要なのか。また、積み残しはあるか。
- (事務局)：積み残しについては、予約システムで4名まで事前予約なので、潜在的な積み残しはあるかもしれないが、現実には4名うまることはなかなかないため、積み残しはそれほどないと思っている。小学校のバス停はもともとバス停がある場所で安全に止まっただき、すぐにそこで転回するのはなく、次の目的地へ行くといった対応をしている。
- (須 田)：お盆や年末年始は運休されているか。
- (事務局)：平日と土曜のみ運行で、日曜と祝日は運休している。年末年始は運休がある。
- (後 藤)：お盆については、まだ運行実績がない。今年の8月は日曜・祝日を除いては運行予定である。
- (土 井)：乗合が1.6を超えているのは良好である。一人乗りはやや高いが、乗り合うと安くなる方法は良いと思う。
- (木 原)：手続き上のお願いである。年末年始やお盆休みはいつからなのか、期間を明確にして設定し、申請してもらいたい。
- (土 井)：各休みをよくわかるように明記すること、また利用者に周知するようにお願いしたい。休みのスケジュールを明確に設定することを含めて、協議が調ったものとする。

(以 上)

協議事項②：灘区篠原伯母野山地域のコミュニティ交通「おばのやま号」の本格運行の実施について

委員：出席者 13 名、欠席者 0 名

学識経験者	土井 勉、猪井 博登
市民代表	須田 一郎
交通事業者	和田 泰典、杉山 博志
各種団体	新屋敷 昭一、下谷 富雄、松本 浩毅（石川 裕資の代理出席）
関係行政機関	木原 健太、鎗水 正和、若宮 詩織、宇野 正高、久保 真成

→協議が整った

主な発言内容：

(猪 井)：地域内のバス停で、①番まで行った後の転回場所はどこか？

(事務局)：坂道の一番上にあるまんてん六甲の丘の施設の駐車場をお借りして転回させてもらっている。

(猪 井)：安全に転回できる場所によろしい。

(土 井)：GW や年末年始の運休はどうなっているか。

(須 田)：年末年始、お盆、GW は運休している。事前におばのやま通信と HP にて周知徹底している。

(土 井)：利用者は地域の方のみか。

(須 田)：アプリを登録すれば地域以外の方にも利用いただける。

(土 井)：そういう方にもこの通信がわかるようにしておいたほうがいい。

(須 田)：まんてん六甲の丘にもご案内しており、まんてんの丘に来られる方々にも利用していただき、喜ばれている。

(後 藤)：WEB 予約のみということだが、どう普及活動をされたか。

(須 田)：利用されたい方は、高齢で独り暮らしの方が多く、この点が一番悩ましかった。度々、アプリ利用説明会や、スマホ教室を開催し、徐々に促進できているのではないかと思う。家族がいる方は、代理で予約してもらうようお願いしている。

(土 井)：スマホを持っていても、使い方がうまくいかないので、ワンプッシュでできるようになればと思うが、工夫はされているか。

(須 田)：画面を使いやすく変更するなど、取り組んできた。高齢の方でも使いやすくなるよう努力している。

(木 原)：手続き上の確認だが、GW やお盆の運休は固定か、毎年動かすのか。いずれにしろ、ある程度日を固めて、申請してもらいたい。

(事務局)：後日調整して申請する。

(須 田)：お盆運休はアプリのお知らせ欄があるので、全世帯に徹底済である。

(土 井)：毎年変わるということなので、ニュースで常に徹底され、1 か月くらい前からアプリでしっかりと周知していただけたらありがたい。

(木 原)：実務ではそれでよいが、手続き上は手間だと思うので、ある程度決めておいてもらいたい。決めた日程から変更ある場合は申請いただきたい。

(土 井)：相談の上、無理のない範囲で申請を行うこと。

(以 上)

協議事項③：兵庫区「みんなのバス」の運行内容変更について

委員：出席者 15 名、欠席者 0 名

学識経験者	土井 勉、猪井 博登
市民代表	樋口 常子
交通事業者	松本 浩之、梁瀬 康昭、中込 繁利、杉山 博志
各種団体	新屋敷 昭一、下谷 富雄、角田 明広
関係行政機関	木原 健太、鎗水 正和、山本 真也、景山 敏一、久保 真成

→協議が整った

主な発言内容：

- (猪 井)：兵庫駅前ところで、迂回ルート西行き、兵庫駅南を超えて、松原の交差点まで行っているが、兵庫駅南で右折しない理由は？折り返しはどうなっているか。
- (角 田)：兵庫駅南は右折ができないため。その先が U ターン道路になっている。
- (梁 瀬)：乗客増加は、今まで乗っていなかった人が増えたのか、市バスや地下鉄から移ってきて増えたのか、どちらか。
- (中 込)：両方である。知名度があがってきて、午前は通勤の方も増えた。4 月以降伸びているのは、4 月の市バスのルートとダイヤの改正の影響により、みんなのバスに移ってきたものと考えられる。
- (梁 瀬)：市バスとの関係、バランスはどうなっていくのか。市バスはどうお考えか。
- (交通局)：4 月から市バスの路線再編をさせていただいているが、「みんなのバス」と市バスは基本異なるルートを運行している。南北交通について、みんなのバスと市バスは補完関係にあるとおもっている。よって、「みんなのバス」の増便については、事業者の判断による需要に沿った対応と認識している。市バスの運行計画については、市バスの利用データに基づき、ルートや便の編成を決めている。今回路線再編したが、運行間隔が長くなった路線について、7 月 1 日付でダイヤを見直すなどの対応をとっている。
- (梁 瀬)：みんなのバスは地域の中になじんでいると考えていいのか。みんなのバスが立ちいかなかった時には、神戸市が補助してほしい。仮にみんなのバスがなくなったときに、タクシーなどの個別輸送に負荷がかかってくると思う。そこをタクシーが担うのはきついと思う。意見として伝えておく。
- (松 本)：利用者数の増加は、市バスの影響もあるが、みんなのバスのドライバーが聞いている情報では、ヘビーユーザーだけでなく、一時的な用も増えている。神戸マツダさんの地元への広報や樋口様始め、地元の皆様の協力よるものが大きい。2022 年に調査した需要予測としては、300 人を獲得目標として見込まれている。
予測値どおり、必然的な増加もありこのような動きをしているといえる。
- (下 谷)：迂回ルートの設定は、交通規制により事業者裁量による他路線なのか、道路交通法に基づく申請が必要なものなのか。
- (松 本)：申請になります。
- (下 谷)：交通規制の通行止めということではないのですね。他路線ということなのか。規制のなかでの事業者の意思でやれる部分とやれない部分はどうか。
- (木 原)：規制で完全に道路が閉まっているときには迂回することができるが、今回は明らかに通れないことがわかっているので先に迂回ルートを設定するという趣旨で認識している。よって、何月何日から何月何日までは迂回系統を通るという明記をするという整理である。高速バスのようなや

り方。

(木 原) : 市バスと共有するバス停については、協議済か。

(交通局) : 覚書を結ぶ話を進めている。

(土 井) : どんな方が使われているかの利用者調査をどこかでやっていると、今まで外出しなかった人がバスがあることで外出の機会が増えた、というデータがとれるのであれば、今後のバス計画にもヒントになると思うので、また取り組んでいただけたらありがたい。

(以 上)

協議事項④：神戸市地域公共交通会議運賃協議会の設置について

委員：出席者9名、合意書提出欠席者0名

学識経験者	土井 勉、猪井 博登
市民代表	樋口 常子（中井 正悟※、松本 裕代※、石原 恵子※、坂本 順子※）
交通事業者	松本 浩之（吉田 育朗※、青田 勇祐※、大久保 泰介※、和田 泰典※）
各種団体	新屋敷 昭一、下谷 富雄
関係行政機関	木原 健太、鎗水 正和、久保 真成

※合意書提済

→協議が整った

主な発言内容：

- (木 原)：地域公共交通会議で複数事業者がいる中で運賃をきめるのは独占禁止法に抵触するとのことで分けることになった。定期定時路線のみ対象となる。
- (梁 瀬)：ふきあい南北バスは、もともとみなと観光バスが運行していたのを採算が合わないからやめて、みんなのバスも採算が合わなければやめるのか。②から⑤においては、神戸市がタクシー協会と協議して運行しているのに、みんなのバスはそれらとは異なり違和感がある。
- (松 本)：まず、みんなのバスは神戸マツダと当社が始めたことで神戸市は当初から入っていない経緯がある。リストにある他のバスとは成り立ちが異なる。
ふきあい南北バスについては、はじめ中央区から期間限定でお願いされ、運行してみた結果、需要が少なかったので、ダウンサイジングしたものである。採算がとれずにやめたものではない。需要に合わせて、タクシー会社のマイクロタイプがちょうどいいだろうとなったものである。
- (事務局)：ふきあい南北バスは、地域コミュニティ交通として、みなと観光バスの試験運行のあとタクシー事業者に公募し、本格運行に至っている。地域コミュニティ交通であれば、市が支援するための一定の基準や条件をみたす必要があるため、経費が上がれば運賃値上げによる収入確保が必要となる。運賃については、まだ決まっておらず、これから地元と話し合っていくものである。「みんなのバス」については、神戸マツダ様の協力のもと、地域貢献として運行してもらっているところ。
- (梁 瀬)：ふきあい南北バスでは、実験が終わってもなくすようにはならず、残してほしいとなったのではないかと懸念している。
- (中 込)：社会貢献のために、弊社が存続するかぎり支援し続けると本格運行のときにも約束している。弊社が存続するかぎり、みんなのバスの事業主体となって支えていくことを約束する。

(以 上)

「みんなのバス」運賃協議会 議事要旨

日 時：令和6年7月29日（月）17時00分～17時15分

場 所：三宮国際ビル 2階会議室

協議事項：みんなのバスの運賃改定について

委 員：出席者5名、欠席者0名

市民代表 樋口 常子

交通事業者 松本 浩之（代理：中村）、中込 繁利

関係行政機関 木原 健太、久保 真成

→協議が整った

主な発言内容：

（木 原）：地域コミュニティ交通にしても、誰かが赤字を負担している中、神戸マツダ様には感謝している。継続するためには値上げも仕方ないところと認識している。障害者運賃を上げてほしくないといった意見があるので、障害者への対策は今後とも工夫してほしい。それと、比較的要望が多かった湊川公園に停留所を新設もするので、値上げとともに利便性の向上もすることをもっとアピールしてもらえればと思う。

（久 保）：需要予測の300人乗っても黒字は難しいか。

（中 村）：黒字は難しい。赤字が減る程度である。ただ、たとえ10円であっても、積み重なれば運営には助かる数字になる。

（以 上）